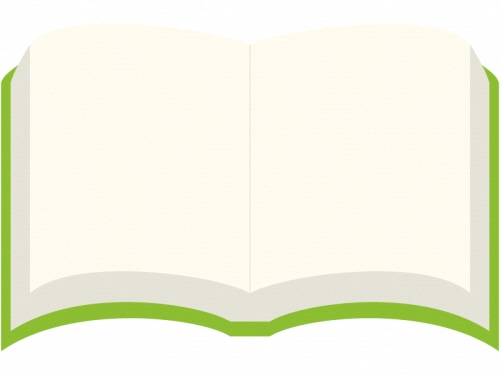


**令和元年度 10月号**





**事務職員会研究部**

　いよいよ秋も深まり、今年度も折り返しを過ぎました。10月からの消費税増税に伴い、学校予算にも影響が出てくるのではないでしょうか。予算の有効活用、執行状況の把握を確実に行い、子どもたちの学校生活がより豊かなものになるよう工夫していきたいですね。



事務職員会 全体会 講話

７月１６日（火）に事務職員会の全体会が開催されました。その中で、教育局次長 甲 猛志氏より「地域と一緒につくる学校」をテーマに講演をしていただきました。

今回の講演では、小中一貫教育とコミュニティスクールの関係性や、その必要性についてお話していただきました。学校を取り巻く環境や制度が変化していく中、その仕組みを理解した上で、事務職員としての役割を考えて行く必要があると感じました。

・学校は「保護者に代理して児童生徒を監護する」という役割を忘れ、その役割を超えて保護者や地域が執り行うべき役割を果たそうとした結果「教員の多忙化」がおきている。

・コミュニティスクールとは、保護者と地域こそが子どもを育てる第一人者であるという自覚を、学校、保護者、地域で共有していくこと。保護者、地域と共に「教育課程の基本方針」を作ることで、学校、家庭、地域の責任が明確になる。（横のつながり）

・小中一貫教育とは、その地域に暮らす子どもの、強み、弱み、夢、悩みを互いの学校が持ち寄り、「目指す子ども像」を共有することで、子ども達の育つ環境が一貫した内容となること。（縦のつながり）



今年度の活動プラン

今年度の活動プランは「学校間・地域間連携」です。ポイントは、「内外の経営資源をマネジメントし教育の質の向上を図る」です。

研究部では、まず事務職員が「目指す子ども像」、「地域や子どもの現状」を知ることからスタートする必要があると考えました。その上で、事務職員としてどの様に連携することができるのか、４つの事例を基に提案しました。

1. 静岡市が開催する「学校・地域ひとつなぎコーディネーター養成講座」を受講し、コーディネーターの役割について学んだ。コーディネーターと事務職員が連携することで、学校と地域をつなぐことになる。
2. 学校全体の「予算スケジュール表」を作成し、教職員へ予算の見える化をした。今後は地域の現状にあった予算提案をしていくことで、より地域との連携を深めていく。
3. 支部の取組として、学校評議員会の中で予算提案を行った。地域が施設修繕費の配当額が少ないことを知り、奉仕活動での施設修繕へとつながった。
4. 経験の浅い事務職員が多い支部で、「経営参画の推進」を目標にOJTを行っている。学校間で連携することで、校内への提案支援など学校マネジメントの推進を図っている。

これらの事例から「学校間・地域間連携」のイメージが持てたのではないでしょうか。事務職員としてどの様な連携ができるか、自校に置き換え考えてみる良い機会としましょう。

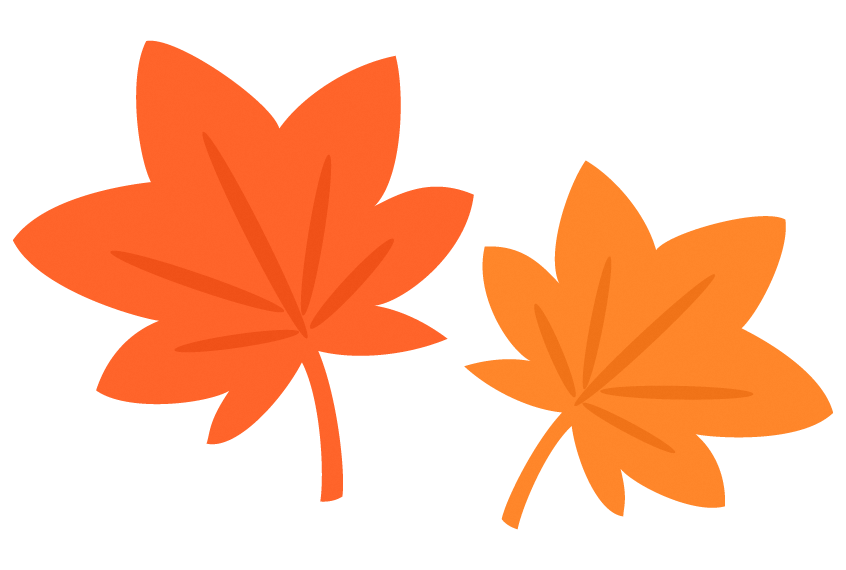
次期活動プランの取組順（案）について

７月の全体会の中で、研究部から次期活動プランの取組順（案）について、進捗状況を報告しました。次回1月の全体会では、各プランの詳細について提案します。

次期活動プランについて御意見等がございましたら、お近くの研究部員まで御連絡ください。



|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 研究の重点 | 年度 |
| １ | 学校事務職員の専門性と役割 | 令和２年度 |
| ２ | 財務マネジメント | 令和３年度 |
| ３ | 情報マネジメント | 令和４年度 |
| ４ | カリキュラムマネジメント | 令和５年度 |
| ５ | 組織マネジメント | 令和６年度 |



～ 学校財務ウィーク２０１９ ～　令和元年11月１日(金)～11月7日(木)

11月第一週は「財務ウィーク」です。「子どもの豊かな育ちを学校財務から」をキャッチフレーズに学校財務の取組をするものです。消費税増税に伴う有効的な予算執行の工夫や、来年度に向けての改善提案等、各学校の状況に応じて、この機会に事務室から情報発信をしていきましょう。

～ 学校事務実践レポートの募集 ～

全事研では、みなさんの実践事例を募集しています。財務の実践に限らず、日頃の取り組みや初めて挑戦したこと、小中一貫に向けての準備…等々、事務に関するどんな実践でも構いません。是非、ふるってご応募ください。

募集案内及び提出時期等については、後日改めてご連絡します。

